資料7

資料7

第 10 期　計画の体系（案）

市が目指すこと

自らが自立意識を持ち共に支え合いながら住み慣れた地域での生活を継続する

- 高齢になっても、認知症になっても、医療が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく生活することができる
  - 困ったときに相談できる体制がある
  - 住み慣れた地域で暮らし続けるための資源がある
  - 認知症の人が希望を持って暮らすための社会資源やしくみがある
  - 必要なときに医療や介護サービス等を活用し、自立に向けた適切な支援を受けることができる

医療連携推進会議で検討

- 心身の状態がよい高齢者が増える
  - 自分の心身の状態や健康づくりへの関心が高まり、介護予防の取組が広まる
  - 年齢にとらわれず、生きがいや役割を持つ高齢者が増える
- 高齢者の安全・安心な生活が確保されている
  - 高齢者の尊厳と人権が尊重され、本人らしい生活を続けるための支援体制が整っている
  - 高齢者にとって安全・安心な住まい・住まい方が確保されている
  - 災害等を含めて高齢者の安全と安心を確保する体制がある
- 介護サービスや高齢者福祉サービスが充実している
  - 介護サービスを必要とする高齢者が 過不足なくサービスを受けることができる
  - 困難を抱える高齢者やその家族が必要なときに必要な福祉サービスを利用することができる

基本目標１：住み慣れた地域で生活するための相談・支援体制の充実

1．相談体制・支援体制の強化	① 地域包括支援センターの機能強化 ② 地域包括支援ネットワークの構築 ③ ケアマネジメントの質の向上
2．日常生活を支援する体制の整備・強化	① 地域協働による支え合いのしくみづくり ② 家族介護者支援の充実
3．認知症施策の推進	① 認知症の普及啓発、本人発信支援 ② 認知症予防に資する可能性のある活動の推進 ③ 医療、ケア、介護サービス、介護者への支援 ④ 認知症バリアフリーの推進、若年性認知症の人への支援、社会参加支援
4．在宅医療・介護の連携推進	① 自分らしい生き方を明確にする支援とチームアプローチの実践 ② 市民のセルフケア力や地域力向上に向けた医療・介護専門職の関わり ③ 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築

地域包括支援センター運営協議会で検討

医療連携推進会議で検討

基本目標２：健康でいきいきと暮らせるまちづくり

1．健康づくりと介護予防の推進	① 介護予防・日常生活支援サービス事業の取組 ② 一般介護予防事業の推進 ③ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施
2．高齢者の活動支援	① 住民主体の活動や活動の場等への支援 ② 地域活動への参加・就労支援の促進

高齢者福祉部会で検討

基本目標３：高齢者の暮らしを支える体制づくり

1．権利擁護の推進	① 高齢者虐待の防止 ② 成年後見制度の利用促進
2．多様な住まい方への支援	① 住まいに係る施策との連携
3．災害時の体制づくり	① 災害時における要支援者等の避難支援施策との連携

基本目標４：介護保険をはじめとしたサービス基盤の整備

1．介護保険サービス	① 介護サービスの充実 ② 介護保険制度の円滑な運営と適正な事業運営の確保 ③ サービスの質の向上と利用者支援 ④ 介護人材の確保・育成と介護現場の生産性の向上 ⑤ 介護現場の安全性の確保、リスクマネジメントの推進 ⑥ 防災・感染症対策の推進
2．高齢者福祉サービス	① 高齢者福祉サービスの

高齢者福祉部会で検討